

議事録

名称	令和7年度 菊間地区学校適正配置地元代表協議会（第3回）
開催日時	令和8年2月13日（金）19時00分～20時10分
開催場所	菊間公民館 2階 会議室
出席者	【委員】 会長 外16名（教育長、副教育長を含む）
	【その他】 菊間支所長
	【事務局】 今治市教育委員会、菊間地域教育課
傍聴者	—
議題	1 望ましい学校のあり方について 2 意見交換 3 中間まとめ

7 議事録（要点筆記） 文中（※）は補足した内容

事務局	<p>（当日配布資料の事前確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料 学校間の距離（字単位） ・ 資料4 統合校のあり方（魅力化・特色化の活動例）
会長	<p>本日、2名欠席で過半数以上が出席されており、会が成立しています。</p> <p>本日はお忙しいところ第3回菊間地区学校適正配置地元代表協議会に参加いただきありがとうございます。</p> <p>昼間の日差しは暖かいですが、朝晩はまだ寒く、寒暖差がありますので体調管理にはお気をつけください。</p> <p>本日から協議の核心部分に入っていきます。菊間町の多くの方にご理解いただけるよう丁寧な議論をし、意見を集約していきたいのでご協力をよろしくお願いします。</p> <p>本日は中ほどでグループミーティングを10分程度予定している。その後で、また議論を進めていきたい。</p>
会長	<p>傍聴者はいないようなので、ただいまから第3回菊間地区学校適正配置地元代表協議会を開催します。</p> <p>前回の議事録については、大名門委員と玉田委員に署名いただいたものを事前に送付している。</p> <p>本日の会議録署名人を指名する。</p> <p>村上晋太郎委員、坪坂智規委員にお願いする。</p> <p>（兩名 了承）</p>

会長	<p>これから次第2 議事に移る。 望ましい学校のあり方について、資料の説明を事務局に求める。</p> <p>(事務局 資料1、2、参考資料説明)</p>
会長	<p>今後協議すべき事項と日程確認、校舎等の比較検討資料、詳細な通学区の資料とあった。それについて、皆様ご質問等はないか。</p> <p>(委員 意見なし)</p>
会長	<p>それでは、本日、グループ討議を行いたい。グループ分けは、保護者のグループとそれ以外のグループでわかれていただきたい。グループ討議の内容は議事録には載せない。情報共有の必要があれば後から発表してもらおう。10分間くらいを予定したい。</p> <p>討議のテーマは、統合のあり方や将来のこと、統合した後のことについて。自分が今思っていることでも構わない。感じていることを話してほしい。</p> <p>話し合いの前に、先ほど(事務局から)説明があったが、小中一貫校については一応今回、本協議会では議論の対象にしないということよろしいか。</p> <p>もう一つ、統合の是非について意思を確認したい。今の気持ちでいいので、統合した方がよいと思う人は挙手をお願いします。</p> <p>(全員 挙手)</p>
会長	<p>皆さん賛成ということで、統合について前向きな検討をしていきたい。教育委員会はグループ討議中、もし質問があれば答えてもよいが、自分から発言はなさないでいただきたい。</p> <p>それでは、グループ討議を始めてください。</p> <p>(グループ討議 約15分間)</p>
会長	<p>みなさん、議論をありがとうございました。</p> <p>グループ討議を通じて、情報共有しておきたい意見があればお願いします。</p> <p>保護者のグループはどうか。</p>
A委員	<p>学校の統合に対する賛成反対は、先ほどの挙手に代えて省かせていた</p>

だく。

統合場所について、現状では、各小学校の保護者に向けて統合についてのアンケートを取っても、自分の地域での統合を望む意見もしくは統合して欲しくないという意見しか出ないだろう。亀岡・菊間の両地域がメリットや強みを出し合い、各地区の良いところや特色を総合的に判断していただいて、どっちが（統合場所として）いいかという案をいただきたい。保護者の立場では、判断材料が少なすぎて判断できないし、それだけのものを背負いきれるかということもある。

また、統合する方向で話は進むと思うが、スピード感がすごく遅い。早く「どちらにしたい」がわかれば、そうすることによる問題点が洗い出せる。保護者と地域の方で（意見を）合わせて解決策を出せる。まず、統合場所の案についてスピード感を持っていただきたい。

会長

保護者以外の方で（出た意見の共有を）願います。

B委員

学校統合については、子どもにとっての最善を軸に考えなければならない。亀岡小・菊間小は、校舎や防災の面からはだいたい同様の条件で、広さや安全等を確保できる。

ただ、私は、統合は学校だけの問題ではなく、地域の将来ビジョンを考慮すべきだと考える。地域の中の学校であるので、特にコミュニティスクール等の状況を加味しても、今後、人数が減少する中では地域との連携が大事になってくる。

そこで、例えば運動場は、菊間小は亀岡小の倍近く広さがある。これからの人数減少を考えると、あまりにも大きい運動場は学校で管理するのが大変で、掃除も子供だけではできない。

それから、運動会について。保育所は4月に亀岡へ統合され、今後新たに菊間に建設されることはないと思われる。今、亀岡小の運動会は地域と合同でしているが、菊間には町民運動会はなく、新たに作ることは難しいだろう。これから小学校の人数が30人、40人規模となったとき、亀岡でなら、今ある組織を使って、保育所・学校・地域が連携して一体になった運動会ができるのではないか。

そのかわりに、菊間小学校の校舎を、地域の交流の拠点に使えるようにしたい。市の方でなんとか活用させてもらえるように約束をとれないかという意見も出た。そこに費用が入って地域おこしとか。菊間町の文化祭を（学校の）学習発表会などと一体にして菊間小の施設で行い、地域おこし協力隊や地域の店などが入って盛り上げることができるのではなかろうか。

お年寄りなどには、菊間と亀岡の気持ちの上での隔りがあるのは事

実である。しかし、学校統合を機会に、新しいコミュニティを作っていく機会にしていけばどうか。

会長

B委員の意見は亀岡での学校統合に偏った意見かもしれないが、今のところ、菊間小、亀岡小どちらに統合するか結論を出すのは難しいだろうと思う。

先ほど事務局から説明されたスケジュールには、PTA 総会や PTA アンケートが含まれているが、どのようにするかは決まっていない。先ほど A 委員が言ったように、判断する資料を提示してアンケートの回答や議論をしていただくという方向にしたいと私は思っている。

統合校の決定についてはアンケートや PTA 総会の後の議論でもう一度行いたいと考えている。

このことについて意見はあるか。

(委員 意見なし)

会長

保育所も統合することから、状況を見ながらの判断でもいいのではないかとこの気はしている。

B委員

事務局に伺う。(統合によって)空いた校舎がどちらになろうとも、それを交流の拠点や企業が入るなどして使うことはできるのか。

事務局

空き校舎を有効に使っている例としては、現在、教育委員会が入っている今治小学校校舎や、老人施設が入っている美須賀小学校校舎がある。その他、使用目的が定まらないままに使われていない校舎もある。どういった内容で空き校舎を使っていくかはこの場では何とも申し上げられないが、有効な利用方法を考え、協議をさせていただいた中でのことになる。場合によっては地域の拠点という使い方も模索できると思う。

C委員

空き校舎などの活用について参考になれば。

松山市にある清水小学校はもともとマンモス校であったが、分校になってできた空き教室を、地域の高齢者のコミュニティの場として使っている。扉一枚で子どもと高齢者が接し合い、高齢者の方が子どもたちを見守ってくれる学校になっていた。今後、子どもはどんどん少なくなると思うので、より地域として子どもを見守れるような(校舎の)使い方として、全国的にも珍しい取り組みのため、参考になればと思う。

会長

貴重な意見をありがとうございました。いずれにせよ、将来のことを

	よく考えた上で、子どもたちと地域にとって何がいいのか判断材料を集めて、統合校の決定に至ればと思う。
D委員	次の会議は5月中旬で、その間にもうPTAのアンケートがあるようだが、どういう形でアンケートをするのか。(例えば統合校が)亀岡小になるとどんなメリットデメリットがあるか、バスは何時何分、何台出るかなどという細かい判断材料がなければ、単に自分の地域での統合を望む回答となり、意味の薄いアンケート結果になる。踏み込んだアンケートにしなければ、統合について想像ができず、統合が決まってからの反発も起きやすいだろう。
事務局	(資料1の)スケジュールについては、(統合検討対象校がある)4地域で同じ想定をしたものである。他の地域では、既に事務局から場所の提案をしているところもある。しかし、まだ場所の議論を続けていく地域については、最短のスケジュールはあくまで目安であり、PTAへの提案時期はもう少し後ろになろうと、菊間の場合は考えている。
会長	PTAの説明やアンケートは今の段階では難しく、スケジュールどおりには難しそうというお話だった。それでも、現状をPTA総会などで話さないわけにもいかないと思うが、ある程度議論ができるような材料をそろえられたらと思う。 今日、アンケート等の内容を詰めるのは時間的に難しいと思うので、次回の会のときに、どういう風に進めていくか議論させていただきたい。 皆さん、いかがか。
E委員	4月の中旬にPTA総会で説明会をすると、そこでの反響や意見を集約して検討をしていくことで、もっとPTAのいろんな思いが重なっていいと思う。その後ですぐアンケートを取るのではなく、また議論を挟むのはどうか。
会長	確かに、意見を集約したうえで協議会を開いた方が効率的に思う。
B委員	一度、亀岡小、菊間小の両方を保護者が見学してみる機会を設けてもらうのはどうか。実際に見た上での判断も大事になると思う。
会長	菊間小学校、亀岡小学校の校長先生、学校の見学という意見はどうか。
F委員	学校としては、しっかり計画してのことなら受け入れは対応可能。

G委員

同じく。

事務局

スケジュールの中では、4月にPTA説明会を予定しているが、この通りにしなければいけないわけではない。他の地区では、既に2月の時点で、参観日の後で説明会をした小学校もある。

事務局まで要望があれば、統廃合の今までの議論と市の考えを含め説明させていただく機会を設けたいため、気軽にお声がけいただきたい。

H委員

子ども一人一人が大切にされる環境が一番重要である。亀岡小では、夏休みに保護者が集まって校舎や運動場の清掃をしている。亀岡小は50人以下の規模であるため保護者の集まりもそれなりだが、子どもの安全のために環境を整備することはすごく大変な作業である。これから先は、保護者と地域の方々が協力して安全管理をしていかねばならない。

両校でどんな風に保護者が校舎等の管理をしているのかも気になる。安全確保についても考えながら話し合いたい。

会長

両校とも同様の問題を抱えていると思う。それぞれの意見集約をもとに話していくことが大切だと思うので、PTA総会で保護者の思い・意見を集約していただくよう、PTAにはお願いしたい。

事務局

補足になる。他地区でPTAに説明会をした事例だが、九和小学校では参観日の後に説明会を実施した。事例の報告である。

I委員

菊間小学校はPTA総会の時に説明に来てもらうのが一番だと思うので、その時にはお願いする。

B委員に亀岡の魅力を語っていただいたので、僕は菊間の魅力と自分の理念を語りたい。菊間小学校は運動場の広さを生かしたいと思う。僕も自分で馬を飼っている。菊小にしる菊中にしる、将来的に馬がいる学校を魅力にして生徒が増えるようになればいいと思う。新潟県の粟島では、「じおかぜ留学」といって、小中学生が留学してきて、乗馬をしつつ、学校に通う子どもたちがいる。一度見学に行ったが、立派な子どもに育って、僕も馬好きなので感動した。菊間の魅力であるお供馬の文化を絶やすわけにはいかないし、学校に馬がいるというのが僕の勝手な夢だ。

B委員

以前、菊間小グラウンドで行われたイベント時に、お供馬について、今は歌仙でしているが、菊間小の広い場所に持ってくればという話が出たことがある。菊間は支所にも近い中心であるので、行事等で人が集ま

る際に、活性化するような何かがあればよいと思った。全国人権教育研究大会に行ったとき、I委員が言った学校の発表もあって、私もすごく感動した。今、I委員が関わっておられる生徒たちが、将来的に、10年、15年先を見越して、そういうことができればよいと思う。

会長

他に意見なければ、本日の議論はここまでにしたいと思う。最後に、事務局から何かないか。

事務局

次回の開催日時だが、来年度4月以降、委員の交代を経てから日程調整をさせていただきたい。

委員の交代がある場合は、地域教育課にご連絡いただきたい。

会長

他に特に無いようですので、本日の協議会を終了させていただく。

長時間にわたり貴重な意見をいただき、ありがとうございました。

これを持ちまして、第3回菊間地区学校適正配置地元代表協議会を閉会する。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

令和8年 3月 4日

村上 委員

村上 晋太郎

坪坂 委員

坪坂 智規

